

常滑市の避難所の開設基準について

災害時、市指定の避難所は市の災害対策本部の判断により、開設レベルに応じて、順次開設します。

開設レベルは、レベル0、レベル1、レベル2の3段階あり、災害による被害状況や影響の度合いに応じて、段階的に開設します。なお、市が開設する避難所を避難先とすることが、唯一の正解ではありません。自宅安全確保ができる場合は、自宅における「屋内安全確保（在宅避難）」も可能です。また、自宅が危険な状態になった場合に備えて、開設中の避難所を市ホームページ、CCNC等で必ず確認してから避難するようにしてください。他に避難できる場所（知人・親類宅、ホテル等）をあらかじめ決めておくことも大切です。

開設レベル0（自主避難施設※）

- 市に大雨、洪水、高潮、暴風及び大雪の各警報の1以上が発表され、自主的な避難者が見込まれるとき。
- 市域に震度4の地震が発生し、自主的な避難者が見込まれるとき。
- 伊勢・三河湾に津波注意報が発表され、自主的な避難者が見込まれるとき。

※自主避難施設とは、台風の接近や大雨が予想される場合等に、避難情報の発令前に、自主的な避難を希望される方のために一時的に開設する施設です。

開設レベル1

- 風水害の発生が予想され、多数の避難者が見込まれるとき。
- 市域で震度5弱以上を観測する地震が発生したとき。
- 伊勢・三河湾に津波警報・大津波警報が発表されたとき。

開設レベル2

- 風水害が発生し、または発生するおそれがあり、高齢者等避難や避難指示などの避難情報が発令されたとき。
- 市域で震度5弱以上を観測する地震が発生したとき。
- 伊勢・三河湾に津波警報・大津波警報が発表されたとき。

避難所開設レベルと開設基準



避難所開設レベル一覧

開設レベル	地区	施設名	開設可能な災害種別					ペット同行 避難が可能
			大地震 耐震	津波	土砂災害	風水害 高潮	風水害 内水氾濫	
0	鬼崎	とこなめ市民交流センター	○	○	○	○	○	🐾
1	青海	青海公民館	○	○	○	×	○	🐾
		市体育館	○	○	○	○	○	🐾
		常滑東小学校	○	○	○	○	○	—
2	南陵	南陵公民館	○	○	○	○	○	🐾
	青海	三和小学校	○	○	○	○	○	—
		青海中学校	○	○	○	○	○	—
	鬼崎	鬼崎南小学校	○	○	○	×	○	—
		丸山保育園	○	○	○	○	○	—
	南陵	西浦北小学校	○	○	○	○	○	—
		小鈴谷小学校	○	○	○	○	○	—

※災害の状況により、開設レベル2までの避難所で避難者の受け入れが困難な場合は、上記以外に「補完」の避難所を開設することがあります。場所等は、後掲ハザードマップ又はデジタルハザードマップでご確認ください。「補完」の避難所の開設状況についても、市ホームページ等で必ず確認してください。

市役所は避難所として開設しません

市役所は災害が発生した際に、国や県、消防、警察、自衛隊などの関係機関が集まる活動拠点となるため、避難所として開設しません。

避難所等の定義 ※ハザードマップをご覧ください。

名称	定義
避難所	災害などにより被災した市民等が、屋内の施設で身体や生命を守る施設。災害発生時には、被災者が一定期間滞在することができる施設。
一時避難場所	地震等が発生した場合に、避難者が一時的に集合する場所または一時的に待避して身の安全を確保する場所。
大地震広域避難場所	大規模地震や大規模火災が発生した場合、炎や煙から身を守り、安全を確保する場所。

避難所での生活を考えよう

避難所は、避難している人みんなで協力して運営する場所です。過労やストレス、感染症などで体調を崩してしまうこともあります。少しでも快適に過ごせるように、みんなが使う場所を清潔に保ったり、最低限のルールをつくり、みんなで協力し合って、避難所生活のストレスを軽減しましょう。

避難所運営で注意したいこと

共同生活のポイント

- プライバシー保護や感染症予防のために、なるべく各スペースを広くとりましょう。
- リーダー、副リーダーを置き、避難所運営のためのルールや役割分担を決めましょう。
- 一部の人だけに負担がかからないように、みんなで分担し協力しましょう。



衛生管理のポイント

- 清掃などは定期的に行い、ゴミは所定の場所に集めましょう。
- 共同トイレはきれいに使うよう心がけ、手洗いでできる水も準備しましょう。
- 定期的に換気を行うなど、感染予防対策を徹底しましょう。



避難行動要支援者への配慮

- 障がいのある人や高齢者、妊産婦などには、手助けをしましょう。
- 車いすが通行できるよう、バリアフリー化をしましょう。
- 避難行動要支援者のニーズを知るための相談窓口を設置しましょう。



女性への配慮

- 着替えなどのために間仕切りなどで人目につかないスペースを確保しましょう。
- 共同トイレの何割かを女性専用とするなど女性が安心して使えるようにしましょう。
- 衣類や生理用品など女性特有の物資は、女性の担当者から配布しましょう。



ペットの飼い主の方へ

- 普段からペットをケージに慣れさせ、ほかの人や動物に対して、暴れたり吠えたりしないよう、適切なしつけをしておく。
- 定期的に各種ワクチン接種を受け、首輪などに迷子札や鑑札をつけておく。
- ケージやペットフードなどを非常持ち出し品として準備しておく。
- エサやりや排せつ物の処理などは、飼い主が責任をもって行う。